



平成26年度一般会計および特別会計決算議案など20件を審査するため、9月15日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、計6日間にわたり審査しました。また10月1日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。

市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた11項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

① 財政運営 については、今後も公債費の高どまりや扶助費の増加など厳しい財政状況が見込まれることから、市税等の徴収率向上を初めとした歳入確保策に努めるとともに、施策の選択及び重点化により財政健全化に取り組まれない。

② 防災対策 については、大規模自然災害の発生に備え、災害時に気象情報や避難勧告・指示などの災害関連情報を迅速かつ確実に提供できるよう情報伝達手段の拡充と活用方法の事前周知に努め、市民の安全・安心の確保を図りたい。

③ 都市アイデンティティの確立 については、市民理解を得るための慎重な検討が必要であることから、固有の地域資源にとらわれず、本市の魅力や特徴に関する多様な市民意見を反映させ、郷土愛の醸成と都市ブランド力の向上に意を用いたい。

④ 民生委員 については、高齢社会の進展に伴う地域包括ケアシステムの構築を見据えると、地域福祉における民生委員が果たす役割はますます重要となってくることから、地域の見守り活動等の地域福祉増進のため、民生委員協力員制度を活用するなど、引き続き民生委員の負担軽減となり手不足解消に努められない。

⑤ 救急体制整備 については、情報共有端末装置の導入が救急搬送時間短縮に寄与しているものの、救急需要の増加傾向を踏まえると、より一層の時間短縮が課題となることから、時間短縮に資する施策を検討し、さらなる救命率向上に努められない。

また、複雑多様化する消防需要に対応するため、女性特有の視点も肝要となることから、女性消防職員の登用を推進するとともに、働きやすい職場環境の充実に意を用いたい。

⑥ 地域課題解決ソリューション運営管理 については、本件に係る附帯決議を踏まえ、本市の厳しい財政状況のもと、事業の効果がより高まるよう取組内容を精査するとともに、特に市民協働の担い手となる、ちばレポ参加者の増は急務であることから、多様な主体や多く

の市民を参加につなげる施策展開に一層力を注ぎ、地域課題を市民協働で解決できる取り組みとなるよう意を用いたい。

⑦ 市内経済の振興 については、本市の産業政策の方向性を示す経済成長アクションプランを基調とし、産学官がより連携することによりプランを着実に推進する環境を整備するとともに、本市経済にとって重要なエリアである千葉港や幕張新都心の持つ強みを生かした施策を展開するなど、中央公園周辺地区の活性化も含め、関係部局と緊密に連携し、より一層の経済活性化が図れるよう取り組まれない。

⑧ ひとり親家庭への支援 については、さまざまな制度が整備されているが、必ずしも対象者にその情報が伝わっていない状況が見受けられることから、必要な世帯が必要な支援を受け、社会的、経済的な自立につながるよう、周知・相談体制のさらなる充実を図りたい。

⑨ 小中学校 においては、いじめ、不登校や発達障害等、さまざまな支援を必要とする児童生徒が増加していることから、ニーズに応じた支援を十分に行えるよう、職員体制の充実を図るとともに、職員のメンタルヘルスについても配慮されたい。

⑩ 交通政策 については、京葉線とりんかい線の直通運転を初め、交通結節点における諸課題の改善に継続して取り組むとともに、バスロケーションシステムの効果的かつ計画的な導入の拡大により、利便性向上に努められない。

また、多様な利用者が想定される鉄道駅等については、引き続き関係事業者への働きかけや必要な支援を行い、バリアフリー化や多機能トイレの整備促進に意を用いたい。

⑪ 各土木事務所 については、道路の劣化修繕や災害時対応のほか、ちばレポの開始を踏まえ、多くの市民要望に適切に応える必要があることから、十分な予算、人員を確保するとともに、多様なニーズに迅速に対応し得る技術職の育成を行い、市民生活における安全・安心の確保に努められない。

意見表明

10月1日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、6人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

- ※1 実質公債費比率：1年間の収入に対するその年に払った借金返済額の割合
- ※2 将来負担比率：1年間の収入に対する将来市が負担する借金の割合

公明党千葉市議会議員団

財政健全化に向けた着実な成果を評価

財政健全化に向け、連結実質赤字比率の解消や主要債務総額の削減など、取り組みの成果は徐々に表れてきております。また、将来に渡る本市の魅力向上に向けた取り組みのほか、子ども医療費助成の大幅拡充をはじめとする市民福祉の向上、プレミアム付商品券発行事業の実施、道路及び庁舎のLED照明の普及拡大、学校施設の耐震補強の概ねの完了などの点を評価し、認定致します。

市民ネットワーク

着実な財源確保と個別の各事業を評価し認定

自主財源は前年度と比較して確実に確保されていることや、市民参画・次世代につながる施策・男女共同参画の観点から市民シンクタンク新規モデル事業、生活困窮者学習支援資金事業などの各事業を評価します。ただし、今後も扶助費の増加など厳しい財政が続くことから、引き続き目標を達成できるよう歳入の確保と歳出の削減に向けた着実な取り組みと事業の拡充を図るよう要望します。

日本共産党千葉市議会議員団

住民福祉の増進をせず、大型開発を進めた決算は不認定

2014年度決算は、国の暴走政治への防波堤としての役割を果たせず、見直しと称して公共料金の値上げや福祉カットなどの市民負担を強いる一方で、財政危機の下、市庁舎整備などを急ぎ、大型開発には多額の事業費をつぎ込んでおり、認めることはできません。厳しい財政状況が続くことから、大型開発からの転換、福祉の増進、税収も向上する循環型経済への転換を強く求めます。

千葉市議会無所属の会

実質収支の確保、財政健全化への取り組みを評価

一般会計で実質収支を確保し、基金からの借入残高が初めて減少に転じた点を評価しますが、実質公債費比率^{※1}、将来負担比率^{※2}においては依然として政令市中ワーストであり、さらなる取り組みが必要です。財政健全化を着実に推進しつつ、各種施策については、真に必要な分野への重点が図られているものの、健全化判断比率については、より一層の行政改革、財政健全化に努めていただくよう求めます。

未来民主ちば

財政健全化へ向けた取り組みの効果が着実に表れており認定

一般会計で昨年度を上回る黒字が確保されたほか、連結実質赤字比率が解消されるなど、財政健全化への取り組みの効果は着実に表れていると考えます。高齢者施策や障がいのある方々への施策などの各施策も評価します。この豊かな千葉市を将来の世代に引き継ぐためにも、各種事業の効果を的確に検証するとともに、本市の発展や市民生活の向上に真に必要な事業を見極める最大の努力を求めます。

自由民主党千葉市議会議員団

厳しい財政状況だが、財政健全化に向けて一定の成果が見られ認定

第2期財政健全化プランに掲げる数値目標について、市税徴収率の向上など、財政健全化に向けて一定の成果があったと考えます。高齢者施策や子育て施策をはじめ、各種施策の実施について一定の評価をします。今後も、経済活性化や人口増加に寄与する施策を一層推進し、税収の確保を図るとともに、引き続き行政改革に取り組むなど、財政健全化に向けた施策を積極的に進めるよう要望します。